

普光寺だより

令和5年1月1日 第5号

真言宗豊山派
浦佐毘沙門堂別当普光寺

新春を寿ぎ

年頭の「ご挨拶申し上げます」

普光寺住職 樺澤賢正

新年を迎え、檀信徒の皆さま方におかれましては益々ご清祥のことと存じ上げます。

日頃より菩提寺の護持運営に対し格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて令和五年は、真言宗をお開きになられた宗祖弘法大師空海上人が誕生されて一二五〇年目に当たります。宗派の季刊紙「光明」においても、昨年夏号、秋号、本年新春号と紹介がなされている通り、宗派を挙げて、十二月三十一日までこの記念事業が展開されます。



お釈迦さまの花まつりやクリスマスのように、歴史上の事実に基づいたものではなくても、古くから多くの方々の信仰の中で特別な日が定着しています。お大師さまの誕生日(六月十五日)も、大師に寄せる願いと祈りと共に、今日まで長きにわたり大切に伝えられてきました。

普光寺でもこの慶事を奉祝して、三年計画で進めて参りました山門二階の格天井・壁画の文化財的修復、並びに昨年ご案内済の総本山長谷寺・高野山への参拝を「弘法大師ご生誕千二百五十年記念事業」と称して後世に残したいと存じます。尚、長谷寺への参拝については、一人ひとりに名入りの参拝証、特別記念品(稚児大師レリーフ)が贈呈され、希望の申込者へは特別仕様の供養証、祈禱札が用意されています。コロナ禍での計画ですが、感染予防対策を講じながら意義ある団参になるように計画いたしますので、友人知人とお誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本年もまだまだコロナ禍の影響

を受けながらの生活様式が続きそうです。感染予防対策やリスクの軽減を考えながら、できることを執行してまいりますので、本年も何卒変わらぬご厚情の程、よろしくお願いたします。

令和五年、癸卯(みずのと・う)年が、皆様方にとりまして安寧(あんねい)でありますよう、誠心よりお祈り申し上げます。 合掌

◇二年参りのご案内

・十二月三十一日の毘沙門堂の開放は、深夜一時頃までといたします

・深夜0時〜【除夜の鐘】

※先着一〇八名

◇正月年始のご案内

・一月一日：九時〜午後一時の間

【浦佐地域の御年始】

・一月三日：十時〜十時五十分

【新年初護摩法要】

※ご自由にお参りください

・一月三日：十一時〜十二時の間

【五箇・岡新田・芹田・北柳古新田地域の御年始】

※御接待は中止といたします

新年おめでとうございます



島村弘 普光寺

総代長

島村弘

檀家の皆様方におかれましても、今年も良き年となりますことをお祈り申し上げます。

さて、本年は皆様方より三年間にわたり、ご負担いただいた山門天井画・壁画の修復作業が3月に終わります。山門設置前に、池田記念美術館で作品を展示することにいたしました。

江戸時代・幕府御用絵師「板谷桂舟」が描いた板絵（16羅漢図）は学術的にも大変貴重で、それを預かる私どもとしては、地域の宝ですので、今後も大切に保存してまいります。

展示期間は、4月22日から5月29日の一か月強にわたります。檀家の皆さまには池田記念美術館へ是非とも足を運んでください。

修復に当たりご指導いただいた上野の東京国立博物館学芸員・保存修復室長である瀬谷愛先生と修復に当たった松岡先生の講演会（4月28日）も「さわらび」で計画しています。

平成27年に市から天然記念物に指定された「8本の櫟」（樹齢500年から700年）が、近年樹勢に活力・勢いが無くなり、佐渡の今泉樹木医にお願いし、昨年から本格的に診断・土壌改良等に当たっていただいています。

上杉謙信公が手植えしたと言いつた「吉祥櫟」そして「長寿櫟」夫婦櫟」と一か所に8本（けやき群）の大ケヤキが生存しているのは貴重で県内ではここだけ。

寺には、多くの文化財があり整理・保存・公開するものも私共の責務です。今年も宜しくお願い申し上げます

月のうさぎはお釈迦様！



宝光院副住職 清水俊晃

新年、明けましておめでとうございます。本年も皆様にとつて良い年になることを願っております。

さて、今年卯年であります。兎といえれば月の表面の模様が兎に見えるというのが有名です。実は古い仏教のお話で兎に関する物語があります。ある日色々な動物たちが施しを求める老人に出会いました。動物たちは食料を探し出すことができず、兎だけが何を探そうと探しましたが、兎だけは何も探そうと探さず、焚火の中に飛び込んで自分の肉を食料にしました。この兎がお釈迦様の前世の姿とされており、その後兎は月へと昇り、大いなる慈悲の心を後世まで伝え続けているそうです。

自分のことを犠牲にしてまで、というのには中々できませんが、他の誰かのために一生懸命になれる、そのような強さを出していければいいと思います。今年も宜しくお願い申し上げます。

「兎」（うさぎ）年

株式相場には、虎は千里を走り、兎は跳ねるといふ格言があり、今年「景気が回復」する。兎は穏やかで温厚であることから「家内安全」また、その跳躍する姿から「飛躍」の年。

- ・ 鷲目兎耳（えんもくとし）
- ・ 飛兎竜文（ひとりゆうぶん）
- ・ 烏飛兎走（うひとそう）

「兎」の入った四字熟語、正月の宿題！



毘沙門堂樓門「天井画修復記念事業実行委員会」発足

十二月二十一日普光寺本堂にて、天井画修復記念事業実行委員会が開催される。

実行委員会会則が承認され、実行委員長に岡村教育長、副委員長に普光寺樺澤住職、池田記念美術館高橋館長、文化財保護審議会笛木会長が就任。委員は市の教育部長、文化財委員、浦佐大区長、地域づくり協議会長、美術館学芸員、寺総代の17人、事務局は市の社会教育課文化振興係。

★事業内容

(1) 企画展示への

会場 池田記念美術館

会期 令和5年4月22日

～5月28日

内容 天井画24面及び壁

画9面、東京国立

博物館所蔵の下絵

(写真)、楼門設計

図等。

(2) 講演会

会場 コミュニテホール

さわらび

期日 令和5年4月29日

講師 瀬谷愛氏

(東京国立博物館)

松岡誠一氏

(仏像文化財修復工房)

(3) 図録刊行

部数二千部・領布価格600円



12.21 実行委員会

設計図も展示。その
檀家の皆さま
には、池田記念
美術館への無
料入場券を配
布予定。

徳川幕府御用絵師・板谷桂舟が描いた「出山釈迦図」と「16羅漢図」の壁画9枚と「天女」23枚・「鳳凰」1枚の天井画をご鑑賞ください。



12.1 東京国立博物館・瀬谷先生

弘法大師の生誕1250年

長谷寺・高野山参拝の旅

桜が満開の本山の旅は、往復飛行機ですので、「根来寺」「久米寺」「岡寺」「京都嵐山」「世界遺産「東寺」と、多くの寺院を参拝し、多くの名所・観光が楽しめます。

特に長谷寺は、天正16年(1588)豊臣秀吉に根来寺を追われた、真義真言宗門徒が入山し、同派の専誉僧正により「真言宗豊山派」が生まれました。根来寺は真義真言宗の総本山です。

★ 行程及び参加費 ★

・期日 令和5年3月27～29日

・経費 9万4千円

・人数 30名

・申込金 1万円

・申込締め切り 1月15日

(一日目・27日)

浦佐～新潟空港～伊丹空港

～根来寺～高野山～密厳院泊

(二日目・28日)

宿坊～奥の院～久米寺～岡

寺～長谷寺～井谷屋泊

(三日目・29日)

旅館～長谷寺御開帳法要～

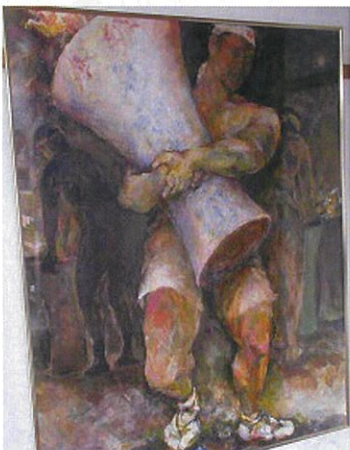
京都嵐山～東寺～伊丹空港～

新潟空港～浦佐

画家佐藤牧子氏

新潟県美術家連盟会員・彫刻家・画家の佐藤牧子(浦佐)さんが、大作(F100号)を寄贈。11月3日、毘沙門堂本堂のお護摩の火と融合した作品は神々しい。

毘翔会(代表北村洋成)から、提灯2張が寄贈。



高さ2m位。お客を圧倒(庫裏の玄関)

令和5年度

多聞青年団最高幹部

() は町名、屋号及び親の名前



団長 阿部容与 (田町・一郎)



副団長(外進係長) 行方健太
(富町・和子)



副団長 小林直生
(富町・正生)



副団長 井口亮太
(浅地町・伝之助新宅)



庶務係長 井口悠矢
(境川・八郎右門新宅)



内進係長 佐藤拓哉
(田町・佐藤旅館)



内進係幹部 石田翔太
(川原町・三坂屋)



ローソク係長 関郁弥
(穴地・明彦)

阿部団長あいさつ

令和5年度 浦佐多聞青年団
第71代団長の阿部 容与 (ひろ
のぶ) です。

日頃より、浦佐多聞青年団の
活動にご理解・ご協力を賜りま
して、誠にありがとうございます。

新しい年を迎え、いよいよ浦
佐裸押し大祭が近づいてま
いりました。過去3回の大祭
は、新型コロナウイルスの蔓延
により、従来通りの大祭を行
うことができず、悔しい思いをさ
れた方も多くいらっしゃった
と思います。

しかし、
そうした難
局に於いて
も強い信念
を持ち、形
を変えてで
もこの伝統
を繋いでく
ださった諸



先輩方やご協力いただいた青年団
OBの皆様、そして地域の皆様のご
理解のおかげで、今年度も大祭の開
催に向けて歩みを進めることがで
きます。心より感謝申し上げます。
足元では第8波となる感染拡大
局面にあり、なかなか情勢が落ち着
きを見せないなかではありますが、
如何なる状況にも柔軟に対応し、浦
佐に春を呼ぶべく、令和5年度の浦
佐裸押し大祭の大成功に向けて、
最高幹部一同、邁進してまいります。

編集後記

★新しい年を、ご家族で和やかに
元気に迎えたこととお喜び申し上
げます。
★雪は天からの恵みです。毎日空
を見上げています。スキー場、除
雪等の雇用を産み、コシヒカリ、
八海山等の銘酒を育みます。
★三十三番観音様巡りの整備をし
たいですね。

(常)